

2017年 01月 05日

2017年 社長年頭所感

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

本日1月5日(木)9時より、伊藤ハム米久ホールディングス株式会社本社(東京都目黒区)にて行われました、当社代表取締役社長 宮下功による「2017年 年頭所感」を下記の通りご報告致します。

記

<要 約>

【はじめに】伊藤ハム米久ホールディングス発足から9ヶ月がたち、決算ならびに中計関連業務だけを見ても統合後初めての業務があった。グループの業績も昨年度を上回り、中間決算時に上方修正するなど堅調に推移している。

【昨年を振り返って】国際情勢や自然災害を始めとし、当社グループを取り巻く経営環境は、予期せぬ事態が常に起こり得る。普段からさまざまなケースを想定した備えを行うことの大切さを、改めて思い起こす一年でもあった。

【フェアスピリットと変革への挑戦】本年は、中計のビジョン達成に向け、一つ一つの施策を着実に進行させ、成果を積み上げる年にしたい。そのためには、役職員全員がフェアスピリットを持ち、変革に挑戦することを期待する。常に、生産性・効率・正確さ・顧客満足度の水準を上げる意識を持ち、業務の変革にチャレンジして欲しい。

【従業員とともに持続的に成長する】経営ビジョンの「従業員とともに持続的に成長する」に込めた思いは、「会社の成長は、まさしく従業員一人一人の成長とともに」であり、年齢や役職に関係なく常にチャレンジ精神を持ち、持続的に成長することを期待している。

<全 文>

はじめに

早いもので、昨年4月1日の伊藤ハム米久ホールディングス発足から9ヶ月がたちました。

この9ヶ月間を振り返ると、決算ならびに中計関連業務だけを見ても、伊藤ハムと米久の事業会社として最後の決算発表およびホールディングスとして初めての業績見通しの公表、第1・第2四半期決算、中期経営計画の策定作業・発表など、数多くの統合後初めての業務がありました。また、グループの業績も、昨年度を上回り、期初の業績見通しを中間決算時に上方修正するなど堅調に推移しています。

このように、伊藤ハム米久グループとして順調なスタートダッシュを切ることが出来たのも、皆さんの献身的な協力や頑張りのおかげであり、改めて感謝します。

昨年を振り返って

世界に目を向けると、昨年はBREXITやトランプ次期大統領の誕生など、大方の予想に反した選挙結果が、為替や債券価格に大きな影響を与えました。日本では、熊本地震に続いて鳥取や福島でも大きな地震がありました。国際情勢や自然災害を始めとし、当社グループを取り巻く経営環境は、予期せぬ事態が常に起こり

得ます。 普段からさまざまなケースを想定した備えを行うこと、すなわち前始末やリスクマネジメントの大切さを、改めて思い起こす一年でもありました。

一方、業績面においても、一定のシナジー効果は創出できていますが、その中身は調達コストの低減によるものが主です。 加工品生産の最適配分や事業会社をまたいでの製品販売など、もっともっとスピードを上げて取り組まねばならない課題もあります。 業績が堅調な今こそ、油断することなく、基本に忠実に「当たり前前」のことを「当たり前」にやりきる」ことに加え、襟を正した行動や、チャレンジ精神あふれる業務遂行を、改めてお願いします。

### フェアスピリットと変革への挑戦

さて、本年は、昨年11月に発表した中計のビジョン達成に向け、一つ一つの施策を着実に進行させ、成果を積み上げる年にしたいと考えます。 そのためには、役職員全員がフェアスピリットを持ち、変革に挑戦することを期待します。 事業所訪問でもお話ししましたが、変革のない業務は作業に過ぎず、仕事ではありません。 常に、生産性・効率・正確さ・顧客満足度の水準を上げる意識を持ち、業務の変革にチャレンジしてください。 また、できない理由をあげつらうのではなく、どうやればできるのかを考えましょう。 できない理由をいくら積上げて、できるようにはなりません。 往々にして、できない理由の中に解決策が含まれているものです。

### 従業員とともに持続的に成長する

話を戻しますが、皆さん一人一人の成長とともに会社も成長します。 経営ビジョンの「従業員とともに持続的に成長する」に込めた思いは、「会社の成長は、まさしく従業員一人一人の成長とともに」であり、年齢や役職に関係なく常にチャレンジ精神を持ち、持続的に成長されることを期待したものです。

### 結び

最後に、年の始めにあたり、一年後の成長した自分や業務の成果を具体的にイメージし、現状とのギャップ・課題を明確にしてください。 そして、明確になった具体的な課題に対し、「フェアスピリットと変革への挑戦心」をもって挑んでください。 皆さんの今年一年の大いなる飛躍を期待しています。

以上

本リリースに関するお問い合わせ先

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

CSR部広報室 高武、米田

Tel: 03-5723-6889 Fax: 03-5723-2091